東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第231号

2015年2月12日発行

http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp

編集・発行：情報委員会

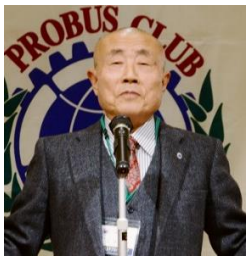
2014～15年度テーマ　[参加して真に生き甲斐の持てるクラブ]
～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～

第 231 回例会

日　時：平成 27 年 1 月 8 日(木) 16:00～17:00
場　所：八王子エルシィ
出席者：57 名　欠席者 12 名　出席率 82.6%
（会員総数 69 名　休会 0 名）

開会　田中例会委員長の司会で開会
配布資料の確認

1. 挨拶　土井会長



明けましておめでとうございます。本年も良いお年でありますよう、私が毎日の朝のお勤めでお祈りしたいと思います。

さて、2 月 26 日に生涯学習サロンの開講式が行われます。クラブが 20 周年になる、節目の記念すべきサロンとなります。今までの努力に重ねて、より一層のご協力をお願いします。

また、今年は創立 20 周年記念行事が 10 月に予定されています。20 年も続いた素晴らしいクラブ、そしてサロンを益々立派なものにするため、この一年間、皆様の力強いお力添えをお願いします。

2. ハッピーコイン披露

永井副会長から 19 名のハッピーコインの披露があった。(4～5 ページに掲載)

3. バースデーカード贈呈

1 月生まれの会員に対し、バースデーカード（池田会員のお手製）が土井会長から贈呈された。
(写真左から河合、武田、寺田、米林、下山、下田、大野の各会員、敬称略)

4. 卓話　妻木晩田(むきばんだ)遺跡と上淀廃寺

岡部　洽会員

妻木晩田遺跡　（鳥取県西伯群郡大山町妻木）

鳥取県米子市の東方で、山陰道の米子 IC から車で 15 分くらいの場所にある、国内最大級の弥生時代の集落遺跡で国指定の史跡である。国立公園大山山系から続く晩田山の、日本海美保湾が一望出来る標高 100m前後の丘陵尾根上を中心に、1～3 世紀に弥生人が生活した集落の遺跡が 156 ㌶にわたって残っていることが平成の初めに分かった。

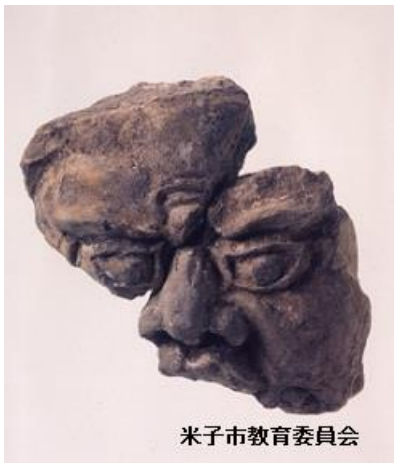
この規模は、それまで最大級の弥生遺跡だった佐賀県佐賀市の吉野ヶ里遺跡 32 ㌶の約 5 倍で、後楽園ドーム球場 40 個分にも相当する。広範囲にわたって集落が点在し、それぞれが目的の違う集落(一般人の居住地や身分の高い人たちの居住地、墳墓群など)になっており、現在の都市

計画に相当する考え方があったと推定されている。火事で焼失したまま遺跡とし残っていた、竪穴住居の屋根の藁葺きが、縦方向ばかりでなく一番下の下地は横方向に葺かれていたと言うことが、藁灰の分析から判明するなど、弥生時代としては高度な文化があったことが窺える。

当時ここには「クニ」を治める「ムラ」があったとも推定され、考古学ファンの中には「邪馬台国じゃなかったのか？」と推測する人さえ居るという。

墳墓にしても四隅突出型墳丘墓（**写真**）と呼ばれる日本海地域に特徴的な形のお墓が数多く出土している。まだ10%ほどしか発掘されてないこの遺跡は､残りの 10 分の 9 が発掘調査されるのが非常に楽しみである。文字のない（文献のない）時代の遺跡を出土品から想像するのは、丁度推理小説の謎解きのように思われ、非常に興味深いものである。

上淀廃寺　（鳥取県米子市淀江町福岡）



妻木晩田遺跡事務所から南西方向へ車で５分程の場所。白鳳期（飛鳥時代後期 683 年頃）に建てられた寺院で、平成 3 年に金堂跡から写真の仏像片と共に、国内最古と思われる仏像壁画片が発見された。その翌年、金堂跡の東側に南北３塔が配された独特の伽藍配置が確認された。

堂塔の配置が規格的である古代の寺院では他に例がなく建立者の独自性が窺える。出土した瓦に年号の入ったものが発見されたので時代が判明した。奈良時代中期（750 年頃）に改修が行われ、平安時代中期（1000 年頃）に火災で焼失したと考えられ、寺の名前が分からないため「上淀廃寺」と呼ばれている。金堂付近から出土した朱や緑青など多彩な色彩を使った壁画片（**写真**）には、菩薩像頭部や甲冑をつけた神将像の上半身、樹木や山などが描かれ、百済の影響の色濃い説法図又は変相図（地獄極楽を描いた図）と推定される。

法隆寺の壁画に負けない貴重な壁画や壮大な寺院が山陰にあったことから、大和朝廷に匹敵する勢力がここに存在したのではないか？と言う想像が出来る。その壁画や仏像に付いては大勢の学者が関わって復元し展示しているが、この作業も私には推理小説の謎解きに似たもののように思えてならない。

両方の遺跡に火事が関わって、結果的にそれが貢献しているのも面白い偶然の一致と言える。

5. 幹事報告　武田幹事

理事会で審議中の案件がいくつかあるが、結論が出次第報告する。インフルエンザが流行っている。会員の皆さんにはくれぐれも気を付けて欲しい。

6. 委員会活動報告

（1）例会委員会　田中委員長

出席会員数の報告

（2）情報委員会　河合委員長

プロバスだより第 230 号をお手元へ配布した。今月の編集担当は田中副委員長。山崎光子会員の協力も得て､一面の富士山の写真の色などにこだわった。

2 月から生涯学習サロンが始まる。「話し手」を務める会員の皆さんに、抄録作成の協力をお願いしたい。担当委員から、原稿のまとめや写真・図録等の資料をお願いするので、提出期限と分量について、ご協力をお願いしたい。

（3）会員委員会　岡本委員長

寒いので休まれる方が大勢います。浜野会員が休会となります。昨年２名（中野さん、市川さん）が退会されましたが、１名（山崎光子会員）の入会があり、現在 69 名の会員数であります。

今年もさらなる会員増強に努めますが皆様のご協力をお願いいたします。なお欠席の場合は必ず事前に連絡を行っていただきたいと思います。

(4) 研修委員会　石田委員長

報告事項なし。

(5) 地域奉仕委員会　寺田委員長

次の 3 点についてのお願いします。

① 先月配布した生涯学習サロン聴講希望テーマ調査書の未提出者は委員会に提出してください。

② 一般サロン会員の更なる勧誘をお願いいたします。勧誘用紙は委員長のところにあります。

③「話し手の方へのお願い」をお配りしました。当日配布するレジュメや使用する機材について、2 月の例会日までにご連絡ください。

(6)宇宙の学校プロジェクトと(7)交流担当は報告事項なし。

7. 創立 20 周年記念事業報告

杉山準備委員長

昨年の 8 月例会で 20 周年事業の大綱を説明し、開催日を 10 月 18 日と決めて準備を進めてきた。ところが 12 月に至り、チャリティ音楽祭の中心である海上自衛隊音楽隊は、当日が国の行事と重なることとなり、八王子での出演が不可能となった。

このため、急遽準備委員会を開催し慎重に審議を進めており、1 月 14 日に開催する準備委員会で、新たな方向性を確定させたうえで、2 月の例会で詳細を報告する。

8. 同好会報告

(1) 茶道同好会　　宮崎会員

1 月 27 日に阿部治子会員の自宅で初釜を開く。会員以外でも参加希望者は自由に参加して欲しい。

(2) カラオケ同好会　　杉山会員

連絡ボックスにメンバー宛のお知らせが入っているので受け取って欲しい。

9. その他

(1) 市のボランティア活動への参加について

武田幹事

八王子市では高齢者支援を目的とした「ボランティア活動の参加者」を募集している。

① 活動内容は、高齢者施設へ出向いての様々なお手伝い。居宅への訪問サービス（「話し相手」「外出の付き添い」「趣味の相手」等）

② 参加資格　65 歳以上で介護サービスを受けていない人なら誰でも。

③ 登録　市の「高齢者いきいき課」の窓口か「地域包括支援センター」（市内 15 か所）に出向き、申請・登録すれば参加できる。

④ ポイント制度　参加活動の特典として、1 回の活動に対して 1 ポイント。年間 50 ポイントまでがもらえる。(5,000 円相当の金品と交換可能)

プロバスクラブの会員の皆さんは元気いっぱいなので、是非この制度に参加し協力をして欲しい。

(2) 27 年度健康フェスタ行事への参加について

山口副幹事

5 月 17 日(日)の午前 10 時から 15 時 30 分まで、12 回目の健康フェスタ(市民健康の日)が狭間の「スポーツアリーナ八王子」で開催される。

例年通りボランティア参加の要請があるので、ご協力をお願いしたい。なお、この実行委員会の会長は当会の塩澤会員が務めている。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉会　　永井副会長

プロバスクラブの運営もこの半年は大変うまくいきました。今日の例会のように残りの半年間もスムーズにいくことでしょう。創立 20 周年記念事業の準備にも入っています。会長の方針である「参加して真に生き甲斐の持てるクラブ」～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～をモットーによろしくお願いいたします。

新年懇親会

歌と奇術と懇談と（17:30～19:30）

野口浩平例会副委員長の軽妙な司会で開会。土井会長の挨拶の後、吉田前々会長の音頭で声高らかに乾杯し、和やかに第二部の新年懇親会がスタートしました。

アトラクションとして、新年の初めは格調高くテノール独唱「山形会員」、伴奏はバイオリン奏者（山形会員のご子息）山形真成氏です。懐かしの愛の歌の夕べ・ペチカ・この道・初恋・椰子の実・ゴンドラの歌等が披露されました。いつまでも変わらない張りのある美しい声、バイオリンの伴奏もまた格別。親子の素敵なコラボレーション演奏に一同盛大な拍手の波。

続いて下田会員による大道芸。こちらもいつもとは異なり格調高い胡蝶の舞を披露。紙を手でちぎり、蝶々の形にして扇子で風を送ると、あたかも本物の蝶が舞い遊んでいるかのよう。１匹２ひきと扇子に止まったり、上になったり下になったりと。おなじみのバナナのたたき売りと異なり一段と難しい、高度な芸となり「すばらしい」の一言。ご努力に拍手喝采。

「続いて」という野口会員の司会に促され、順次指名された方が前に出て自慢のおしゃべりや歌を伴奏なしのアカペラで披露。渋谷会員のドイツ語の“野ばら”に始まり、宮崎会員、荻島会員、大高会員、杉山会員、大野会員、土井会長、八木会員、岩島会員他、最後に塩澤会員の詩吟。詩吟に合わせて全員で黒田節を合唱。八木会員とシニアダンディーズによる「ペチカ」の合唱もすばらしい出来栄え。練習効果大でした。

大野会員のシャンソンや大高会員、杉山会員による軍歌もまた懐かしいものでした。野口会員の鮮やかな司会進行、本当にお疲れ様でした。

最後は永井副会長の手締めで、新年会はめでたくお開きとなりました。

ハッピーコイン

◆念願の初優勝　年頭の箱根駅伝において、母校青山学院大は往復の総合優勝を遂げた。おめでとう！
宮崎　浩平

◆大横町の旦那の出身大学の箱根駅伝優勝おめでとう。今宵宮崎さんに乾杯。
野口　浩平

◆明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。今年の箱根駅伝、青学大の走りには驚きました。
山口　三郎

◆孫の成人式、就職内定及び青山学院大学の箱根駅伝優勝、まとめておめでとうございます！
岡部　洽

◆あけましておめでとうございます、明日で古希を迎えます。学生時代同期の8%が亡くなっている中、体の傷は色々あるが、何より元気で古希を迎えた事に感謝。
寺田　昌章

◆すでに親の年齢を越えて新年を祝っています。長寿万歳、感謝感謝の祝酒です。
杉山　友一

◆おめでとうございます。去年は馬年でうまくいかなかったが今年は羊年なのでやわらかく行動したいと思います。よろしく。
荻島　靖久

◆新年おめでとうございます。
昨年10月～12月は例会を体調不良の為欠席しました。2か月ほど前から「八王子産・桑の葉茶」を朝食前に飲んでいます。少々効果があるような感じです。今年は元気をとりもどして出席します。
竹内　賢治

◆明けましておめでとうございます。喜寿を無事通過し傘寿を目指します。足腰と頭を鍛えて日々精進。今年もよろしくお願いします。
初例会勇み顔なる人集ふ
河合　和郎

◆昨年暮、富士山の麓にあるスキー場へ息子の家族と共にスキーを滑って来ました。まだ滑れるのが幸いです。
髙取　和郎

◆元日の朝、八王子八福神めぐりをジョギングでおこないました。今年も実行出来たことに感謝！
吉田　信夫

◆76才になります。いつまでもゴルフが出来るよう今年も頑張ります。
米林　伸恭

◆孫息子が駒澤大学に合格しました。あとつぎのあとつぎができて幸せ。
土井　俊玄

◆娘達が来て楽しい正月を過ごしました。
山崎　修司

◆本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。羊のような優しい「えがお」で参りましょう!!
武田洋一郎

◆明けましておめでとうございます。2015年が穏やかな輝かしい年でありますように!!　プロバスの皆様の御健勝を祈念申し上げます。
飯田冨美子

◆今月は誕生月。憶えているよ。まだ大丈夫!!
下山　邦夫

◆78年ぶりに骨折しましたが、正月全治しました。
塩澤　迪夫

◆笑う門に福来たる、今年も元気で明るい年になりますように!! よろしくお願いします。宮城　安子

投　稿

「煎茶道」と髙遊外売茶翁

阿部　治子

日本の「茶道」は千利休と知るところだが、「煎茶道」と問われた時、あまり知られていない。煎茶は中国僧「隠元禅師」によって日本に紹介され、後に髙遊外売茶翁により広められた。上流階級の文化だった喫茶の風習を庶民に広げ、身分を差別することなく、禅を説き茶を施す。その精神性を「煎茶道」として確立した。

日本で古くから飲まれている茶は、原産の中国南西部から伝えられたもので、長い間貴重なものとして扱われていた。中国では古来仏薬思想があり、「本草書」によると、茶は病気を予防するものとして広く使われていた。

唐代、陸羽という人が「茶経」を著して茶の効用や喫茶の方法について詳しく述べ、茶そのものを清雅な書斎（文房）に於いて楽しむという文化を世に知らしめた。同時代の盧同は「茶歌」により、その喜びを詠い、後世に影響を与えている。

茶の製法も時代により変わり、唐代では茶葉を蒸して固めた団茶が主で、これを削って煮出して飲まれていた。宋代になると茶葉を蒸した後、乾燥させて粉にし､溶かして飲む抹茶が好まれるようになる。

日本には栄西によって伝えられ、利休は日本独自の抹茶の文化（茶道）を確立したのである。栄西によってもたらされた茶の実は、明恵上人が栂尾に植えて宇治へと広め、日本の煎茶の基となった。

中国明代の煎茶(乾燥した茶葉を煎じて飲むもの)は、江戸時代初期に、長崎の唐人貿易と共に黄檗宗の伝来に伴って紹介された。禅宗の一つである黄檗宗の開山隠元禅師は1654年に来日し、宇治に万福寺を建立し、絵画、書、印刷技術、料理、食べ物など、中国の新しい文化を伝えた。

随行した僧の中には文人的教養を備えた人も多く、非日常的で、陸羽や盧同に通じる精神世界を伴った喫茶の風は、後に煎茶道の祖と言われた売茶翁にも大きな影響を与えた。

江戸時代中頃、京の町に中国風の長い衣「鶴氅衣」（かくしょうい）を着て「仙窠」（せんか）と呼ばれる箱を天秤棒で担ぎ、三十三間堂や方広寺大仏殿、東福寺の通天橋などの風光明媚な場所に出かけ、茶具を広げて「茶銭は百錙（ひゃくいつ）より半文銭までくれ次第、ただ飲みも勝手、ただよりは負け申さず」と客を待つ売茶翁が現れた。

売茶翁高遊外は肥前国（佐賀）の生まれ、11 歳で得度し僧名を月海元昭、黄檗宗の修業をしながら全国を巡り、宇治の万福寺へも何度か上がった。33 歳の時、長崎で「清人の茶を煮るを見る」と年譜にもあり、故郷でなじんだ茶に一層の愛着と新しい茶の飲み方に惹かれたかもしれない。66 歳の時、蓮池の龍津寺を法弟の大潮に託し京へ上った。

売茶翁にとって、還俗して茶を売るという行為は「袈裟の徳にほこりて人の信施をわずらわすは、われ自善する者の意志に非ず」として、堕落した既成禅宗への反抗心から生まれたものではあったが、売茶翁は茶を売ろうという行為そのものを一つの禅と考え、禅の精神は彼の中に強く存在した。

煎茶をふるまい、優しい言葉で禅の奥義を語る売茶翁の姿は、市中で評判となり、多くの文人墨客が、その人柄と精神性に魅力を感じて集まってきた。その中には書家の亀田窮楽、儒者の宇野士新、文人画の彭城百川、禅僧である相国寺の大典顕常とも親交のある池大雅、伊藤若冲、豪商で多彩な知識人の木村蒹葭堂などがおり、売茶翁は彼らの精神的な後ろ盾となっていた。

翁は体力が衰えると茶具を焼く「仙窠焼却語」を著して、それ以後は独り楽しむだけになった。売茶翁の創案した煎茶は、後世に伝えようとした意志は見られない。自分の茶具は生前に焼き払い、煎茶は自分一代のものだったのである。

文雅の友として煎茶を見直し、独立した存在として扱った上で、売茶翁の奇行は人を勇気づけ、その行動に走らせる起爆剤の役割をした。

髙遊外売茶翁は「煎茶」に一つの意味を持たせたのである。

「投票立会人」という仕事

荻島　靖久

過日の衆議員議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査における「期日前投票所」の投票立会人を 4 日間、午前 8 時 30 分から午後 8 時まで務めた。3 日間は八王子市石川事務所に開設された「期日前投票所」で、1 日はある老人ホームの不在者投票所であった。

投票立会人は、「期日前投票所」に 2 人ずつ配置され、投票が終了した時点で、投票録等に署名・押印をして任務を終了する。

公職選挙の投票には「期日前投票」と「不在者投票」、投票日当日の「通常の投票」がある。選挙人が勘違いするのが不在者投票と期日前投票である。「不在者投票」と言うのは、老人ホームや病院、または遠隔地に所在し、当日自分の住所地の投票所で投票できない場合など、選挙人が他市町村等で投票を行うことである。

「期日前投票」は、文字通り選挙当日に仕事や旅行などで、投票できないことが明らかな場合に、投票日の前日までに投票することができる制度である。

さて、この投票立会人の主な任務としては、投票所で投票が行われる際に、投票管理者の事務の執行に必要な補助を行うとともに、投票事務の執行が公正に行われるように立ち会うのが役目で、任務の主なものは次のとおりである。

第 1 は投票事務全般について立ち会うことである。具体的には投票所の開閉に立ち会い、最初の選挙人が投票する前に、その選挙人とともに投票箱に何も入っていないことを確認すること。さらに投票用紙の交付に立ち会い、投票箱の閉函に立ち会うこと。

第 2 に投票管理者に意見を述べることである。具体的には投票を拒否することについて意見を求められたとき。代理投票補助者の選任について意見を求められたとき。不在者投票を受理するかどうかについて意見を求められたとき。

第 3 には投票管理者の決定について異議があるときで、具体的には選挙人が投票を拒否されたときなどである。そのほかにも多くの任務がある。この投票立会人の選任については、「市町村の選挙管理委員

会が、選挙ごとに各投票区の選挙人名簿に登録された者の中から、本人の承諾を得て2人以上5人以下の立会人を選任し、その選挙の期日前3日までに本人に通知しなければならない」と公職選挙法第38条に規定されている。投票立会人の任務もすべて公職選挙法に基づくものなのである。こうした厳正な管理体制の中で、国民の基本的な権利の適正な執行が守られているのである。

「戦後七十年」

廣瀬　智子

平成27年は、八王子空襲から七十年目の年に当たります。それは、昭和20年8月2日未明のことでした。アメリカのB29爆撃機の焼夷弾による空襲を受け、八王子の旧市街の大部分(80%)が被害にあいました。焼失戸数14,349戸、死者445名もの大きな犠牲を被りました。

照明弾（閃光爆弾）のほか、M47焼夷弾が1,692個、M17集束焼夷弾6,000個。これは上空1,500㍍で時限信管により開き、内蔵されているM50がバラバラになり、67万個となるという大変な数が落とされました。

その結果、万町の中山製麦所付近、続いて長房にあった東京陸軍幼年学校と次々に火に包まれていきました。空襲は2日零時45分から2時半頃まで続きました。このような大きな被害を人的・心的・物理的に蒙むりましたが、日々人々の心の中から薄らいでいってしまいます。また空襲の爪あとも消えていってしまいます。

戦後七十年を迎えた今、戦争を知らない人々が半分以上を占めています。戦争の実際を知り、次の世代にどのように伝え残していくかという事は、重要な問題であり極めて難しい問題です。その要因の一つは、体験者の減少と高齢化、二つ目は管理面の問題や開発等による、空襲の痕跡の消滅、風化等があげられます。

中央大学総合政策学部松野良一教授のゼミが「八王子の空襲」というドキュメンタリー番組のＤＶＤを制作しました。八王子空襲体験者5人からの証言、多くの聞き取り、取材等の結果を編集しています。八王子市が実施する8月の平和展で、再編集して上映される予定です。

更に戦争に関しては、戦跡を目で見て確認し、保存、公開等を通じて、戦争を伝えていくことが求められています。平和な未来のために、私たち大人は子ども達にどのように真実を残し、伝えていく事ができるか考えなければならないと思っています。

DVD：「八王子空襲」～5人の証言～

1945年8月2日、八王子に東京大空襲とほぼ同量に当たる600トンの焼夷弾が投下された。空襲当日、八王子市で一体何が起きたのか。戦後70年が経過した今、空襲の記憶は風化しつつある。5人の語り部は何を次の時代に残そうとしているのか。

5人の証言者は体験を踏まえて「戦争は二度とあってはならない」と強く訴え続けている。この5人の証言者の1人に廣瀬智子会員が登場する。

このＤＶＤは情報委員会で管理していますので、是非ご一覧を。（情報委員会）

地球温暖化について

土井　俊玄

私もご多分にもれず、地球温暖化の原因として「二酸化炭素犯人説」を固く信じている一人でありました。テレビなどで見る南極の崩れ落ちる氷床、パタゴニアの氷河が溶けて湖になってしまった映像、猛威を振るい、人々を襲うハリケーンや竜巻、旱魃のためにひび割れた地面などの映像を見るたびに心配している一人でもありました。

その心配が全く無くなったわけではありませんが、一冊の本によって別の見方ができるようになりました。その本は『地球温暖化論に騙されるな！』という講談社から2008年に発行されたものです。著者は東京工業大学の教授で丸山茂徳という人です。

この本によると、世界中が温暖化で大騒ぎになった原因は、アメリカ大統領クリントンの副大統領であったアル・ゴア氏が地球温暖化の危機を訴えた映画『不都合な真実』が全米で公開されたことにあり、それは2006年のことでした。

ゴア氏は1997年に京都で気候に関する国際会議が開かれ、京都議定書が結ばれた時のアメリカの代表を務めた政治家ですが、彼の主張のよりどころとなっているのは、主にＩＰＣＣ(気候変動に関する政

府間パネル)の研究成果なのです。そして、このＩＰＣＣが 2007 年に第４次評価報告書を発表し、その中で温暖化ガスのうち 56.6% が二酸化炭素であると指摘し、この排出量を減らすことによって、地球温暖化の要因の半分はなくせると発表したのです。

2007 年はゴア氏の『不都合な真実』の大ヒットとあいまって、地球規模で「地球温暖化」狂騒曲が起ったのです。こういう世界的な風潮の中で、異なった研究成果を発表しても中々理解してもらえないでしょう。しかし、この著者は敢然としてそれに挑んだのです。気候変動は、そんな単純なものではなく次の 5 つの要因があるとしています。

① 太陽の活動度～活動が低下すると気温が低下。
② 地球磁場と宇宙線～磁場が弱くなると宇宙線量が増え、これに伴い雲の量が増え、気温が低下する。
③ 火山の噴火～溶岩性でない火山灰の激しい噴火は、灰が成層圏に滞留し気温が低下する。
④ 地球の軌道～軌道の変化により地球が受ける太陽エネルギーに増減がある。
⑤温暖化ガス～増加すれば気温は上昇する。

この 5 つの要因の分析研究の結果として、地球は今寒冷化に向かっていると丸山教授は訴えています。それに加えて現在地球は間氷期にあり、10 万年単位で見ていった時、確実に氷河期に向かいつつあり、我々が怖れるべきは「地球寒冷化」であると主張しています。

私はこの丸山教授の本を読んで、現在の温暖化説を全て否定するものではありませんが、科学の世界でも全く正反対の意見があることを知りました。10 万年単位で地球の気候変動を考えると、その検証は極めて難しいことなのではないでしょうか。

しかし、一つ確実に言えることは、人類は掛け替えのない地球の大自然を痛めつけ、その資源を消費してきたことは間違いのない事実です。宇宙船地球号には代りの船はありません。より快適な生活を求めて、開発という名の破壊と資源の浪費は際限なく許されるものではありません。

奇跡のような地球の恵みによって生かされている私たちは、もう少し「地球規模」という大きな視点から、その在り方を再考する時期に来ているのではないでしょうか。今世界中で頻発している異常気象は、地球が発している警報なのかも知れません。

俳句同好会便り

河合　和郎

私の一句～１月の句会から

初句会には全員が元気な顔を揃え“よろず放談会”のような会話が活発に飛び交っていました。出句の中にもありましたが、今年は戦後七十年に当たる年。この「戦後」は、これからも百年、百五十年と大事にし続けていかなければならないと思います。

零下五度ジョギング初め霜の朝　　山形　忠顯

作者の美声は日頃の鍛錬の賜物なんですね。零下五度の中、ジョギングに挑戦。頭が下がります。

冬の蜂ぬくもり求めさまよへり　　石田　文彦

冬の到来は昆虫にとっては死を意味する。蜂が日溜りでのろのろと歩む姿に哀れさを感じた。

天空に涯ある如き冬星座　　池田ときえ

高点句。冬の星座の美しさが描けた。繊細な感性で、壮大な宇宙を一句にまとめた。

風邪に臥す六尺狭し夢は野に　　田中　信昭

芭蕉の「旅に病で夢は枯野をかけ廻る」の向うを張るプロバスの俳人。病んでも一句の根性。

歌留多取り孫に負けるも大義かな　　飯田冨美子

最高点句。孫の話には弱い世代。来て良し帰って良し。孫には色々と気を使いますね。

空っ風上州三山ここにあり　　東山　榮

空っ風のように気風のいい句。ストレートな切れのある表現に説得力がある。

夕空に雪吊り凛と並びたつ　　馬場　征彦

雪吊りは実用のものだが、景としても美しい。茜空のシルエットが立体的に描けた。佳句。

裸木の梢に白く凍る月　　渋谷　文雄

最高点句。詩情豊かに武蔵野の大自然を詠った。若々しい感性に新年も期待大。佳句。

寒晴れや指呼に届かむ富士の峰　　河合　和郎

冬晴れの日は富士山が指呼の間に見える。ちょっと手を伸ばしてみたのだが。

編集後記　はや立春、暦の上ではもう春です。何だか心はウキウキ。でも１年で一番寒いのがこの時期。どうぞ寒さに負けず元気にお過ごしください。第 231 号を何とかまとめました。委員長のサポート大です。ホット一安心。

(飯田冨美子)